

小中学校授業での土砂災害防止教育展開例 (4) 中学校社会 (地理・歴史・公民)

学習指導要領に示された教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

注1：文頭に付された番号・記号は、学習指導要領に準拠している。

注2：国土交通省砂防部「土砂災害防止教育ガイドライン（案）」を参考とした。

注3：数社の教科書の授業展開例を参考とした。

学年	土砂災害防止教育に関する 学習項目と内容(注1)	当該項目で土砂災害防止教育の 視点から教えたい内容(注2)
地理 1・2	(2)イ 世界と比べた日本の地域的特色 世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。 (7)自然環境 世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる。	○日本の国土は環太平洋造山帯に属し、地震や火山の多い不安定な地質であり、地形も急峻で降水量も多く、災害が発生しやすいという特色がある。
地理 1・2	(2)ウ 日本の諸地域 日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつき、の面から考察し、地域的特色をとらえさせる。	○日本の多くの地域は、土砂災害が発生しやすい自然特性の中で、先人が防災面での努力を重ねながら暮らしを営んできた土地であり、そこには自然条件に合わせた産業や文化などが形成されている。今後もそれを継承していくためには、自然環境の保全とともに防災が重要である。
地理 1・2	(2)エ 身近な地域の調査 身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。	○身近にある山・川等の地形には、がけや地すべり地、土石流危険渓流などの危険箇所がある（これについて調査し、地域のバザードマップ等を作成させることによって、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる）。
歴史 2・3	(1)イ 身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。	○身近な地域の歴史の一つとして、地域の災害史や、伝統的な防災文化がある（これらを調べる活動を通して、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる）。 ○地域の防災文化を調べる上で、砂防資料館や砂防フィールドミュージアム等が活用できる。
公民 3	(1)ア 私たちが生きる現代社会と文化 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解させるとともに、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付かせる。また、現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、我が国の伝統と文化に関心をもたせ、文化の継承と創造の意義に気付かせる。	○現代日本の特色である少子高齢化、特に中山間地における人口減少と高齢化の進行は、中山間地の防災にも深刻な影響を及ぼしている。中山間地の荒廃は、下流都市域の災害にも結び付く問題である。
公民 3	(2)イ 国民の生活と政府の役割 国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解させる。	○国や県の働きや市町村の協力で、がけ崩れ、土石流、地すべりなどの土砂災害や、火山噴火などによる災害を未然に防いでいる。また、環境保全や災害復旧の取組を行っている。
公民 3	(4)ア 世界平和と人類の福祉の増大 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の	○土砂災害の多い国々で、日本の「SABO」による海外協力が行われ、その国の発展に寄与している。「防災」は、世界の平和と安定を確立するための基礎となるもので

	<p>尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割について考えさせる。その際、日本国憲法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防衛及び国際貢献について考えさせるとともに、核兵器などの脅威に着目させ、戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。</p>	<p>あり、この分野での我が国の貢献は、今後も続けられるべきである。</p>
--	--	--

	一般的な授業展開例(注3)	土砂災害防止教育の授業展開例
地理 (2)イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(世界と比較した時の)日本の山地と海岸、川と平野、気候などの特色</li> <li>○日本の自然条件を背景とした自然災害               <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然災害</li> <li>・自然災害への対応(防災)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の自然の特色(「災害特性」としての)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・急峻で、脆弱な地質の山、急流河川(諸外国との比較)</li> <li>・降水量が多く、雨がまとまって降る気候</li> <li>・火山、地震が多いこと など</li> </ul> </li> <li>○日本の自然災害と防災               <ul style="list-style-type: none"> <li>・(土砂災害を中心とした)日本に多い自然災害</li> <li>・日本独自の「砂防」</li> </ul> </li> </ul>
地理 (2)ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の各地方の暮らし</li> <li>*地方別に特色ある産業や文化を学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各地域の災害特性と過去の土砂災害</li> <li>*地方ごとに、地質や気候の特色、過去の土砂災害を紹介</li> <li>○各地域の砂防</li> <li>*地方(または地整・県などの単位)ごとに特色ある砂防事業を紹介</li> </ul>
地理 (2)エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な地域の調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や各種資料を基に、土地利用、地形などの情報を収集</li> <li>・自然環境、他地域との結びつき、人々の営みとのかかわりから地域の特色をまとめ、地域の課題に気付く</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の土砂災害危険地帯を知る               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップや国交省資料などを読む</li> <li>・地域のハザードマップをつくる</li> </ul> </li> </ul>
歴史 (1)イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な地域の歴史               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色ある歴史を調べる</li> <li>・調べる手段として、地域の博物館その他を活用する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の災害や砂防の歴史を探る               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災に尽くした偉人たち</li> <li>・地域に残る昔の防災施設</li> </ul> </li> <li>○砂防資料館・砂防フィールドミュージアム</li> <li>・地域の砂防資料館等を活用する</li> </ul>
公民 (1)ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代社会と私たちの暮らし               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本社会の特色と課題(少子高齢化、情報化、グローバル化)</li> </ul> </li> <li>○伝統文化の継承と創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土砂災害の背景としての社会問題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地人口の減少、高齢化、都市周辺の人口集中と防災上の問題点</li> </ul> </li> <li>○防災文化の継承</li> </ul>
公民 (2)イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国民生活と政府の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府の役割</li> <li>・租税と財政</li> <li>・地方公共団体の役割</li> <li>・社会保障のしくみ</li> <li>・公害と環境保全</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○砂防事業のしくみ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防を行う国や県の部局</li> <li>・砂防で行われる事業</li> <li>・砂防にかかわる法律</li> <li>・災害復旧の取組</li> <li>・災害を予防する取組</li> </ul> </li> <li>○砂防と環境保全               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系や景観に配慮した砂防</li> </ul> </li> </ul>
公民 (4)ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際問題と日本               <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸問題(文化の衝突、環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題)</li> <li>・世界の中の日本の役割</li> <li>・未来への展望</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○砂防の海外協力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国への砂防技術供与とその歴史</li> <li>・日本がリードする砂防技術</li> <li>・21世紀の世界的課題としての自然災害防災</li> </ul> </li> </ul>